

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	まちなか快適観光施設整備事業					
事業の概要	今回整備したまちなか快適観光トイレの設置場所は、当町における観光アクセスの最重要ポイントである。年間を通して多くの方々がまちなかをゆっくりと周遊できるようにするためには、トイレの設置が不可欠であり「観光はトイレから」を基本理念に本事業を実施するものである。					
	目標時期	平成17年度				
	総事業費	7,633	本年度事業費	7,633	交付金交付額	3,816
事業の必要性	これまで旧岩滝町の観光は、短期滞在型のリゾート整備を目指し観光拠点の整備やイベントを開催であったが、施設整備により観光意識の成熟を迎えた今、本町がもつ豊かな自然・歴史・文化・産業を体感し町内を周遊してもらうためには、誰もが利用できる観光トイレの整備は必要不可欠である。					
事業の有効性	町内を周遊できる環境を整えることで、観光客の増加に促進し、同時に町内の観光施設の利用者の増加を図るものである。					
事業の効率性						
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果					
	3 リーディング・モデル成果					
	4 広域的波及成果 観光トイレを設置することにより、丹後地域全体の観光施設利用に付随する公共サービスや、観光施設を介して発生する各種民間サービスの提供を図ることができ、リピート性の高い安定した観光地づくりを図ることができる。					
	5 行財政改革に資する成果 当町内には観光施設が多くありそれらを相互に利用できるようにすることで、相乗効果を期待するものである。					
	6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。